

教育目標 自ら学ぶ・友と学ぶ・仁科の里に学ぶ

【教育理念】

「一人ひとりの輝きを認め合う学校」

めざす教師像：子どもの可能性を信じ、寄り添う教師

めざす学校像：授業を根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

一人ひとりの輝きをそれぞれが認め合う学校づくりと、子どもが自分や対象に深く向きあい対話する「協働の学び」の実践を通して、よりよく生きるために主体的に学び続ける子どもを育成する。

めざす児童像

～よりよく生きるために学び続ける～

- ・ 自他を大切にする子ども
- ・ 安心して学び合い、高めあい、自分で決める子ども
- ・ ふるさとに愛着をもち大切にする子ども

《 教育課題と重点 》

教育課題

自己調整学習力・自己有用感の育成

（重点1・ 学びづくり ）

主体的で対話的な深い学びを。

- ・ 対話を基盤とした協働の学び
3つの学び方の定着
- ・ 思わず挑戦したくなるような「問い」の開発
- ・ 一人ひとりが願いをもって解決していく生活・総合を核とした探究的な学び

（重点2・ なかまづくり）

一人ひとりが主役となる学びの場を。

- ・ 認め合い、安心して自己表現できる場づくり（集団づくり、縦割り活動など）
- ・ ユニバーサルデザインによるインクルーシブ教育の充実

○学習システム

- ・ 大町中学校と市内4小学校と「協働の学び」でつなぐ小中一貫カリキュラム
- ・ 対象に深くかかわる活動や、体験を実現する教科横断的なカリキュラム

○地域との協働システム

- ・ 学校運営協議会制度をもとにした学校づくり（閉校行事・職員との合同研修会）
- ・ 家庭・地域・学習ボランティアとの協働

○職員の研修システム

- ・ 共有および自己課題に応じたLCによる授業づくり
- ・ 日常の教室環境や授業の参観から学び、明日の授業に生かそうとする雰囲気づくり